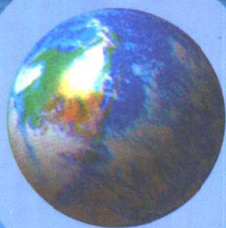




GUOJI SHANGWU



SHANGWU RIYU
JINGDU

Guoji Shangwu Riyu Jingdu

国际商务日语精读

方爱乡
唐向红

刁鹞鹏
邢琳华
主 编

东北财经大学出版社

DONGBEI
CAIJING
DAXUE
CHUBANSHE

国際商務
日本語精読



RIYU

国际商务日语精读

国際商務日本語精読

方爱乡 刁鹂鹏 主编
唐向红 邢琳华

东北财经大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

国际商务日语精读/方爱乡主编. —大连: 东北财经大学出版社, 1997.12 (2000.12 重印)

ISBN 7-81044-251-1

I. 国… II. 方… III. 商务-日语-语言教学-语言读物
IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (97) 第 23648 号

东北财经大学出版社出版

(大连市黑石礁尖山街 217 号 邮政编码 116025)

总编室: (0411)4710523

发行部: (0411)4710525

网 址: <http://www.dufep.com.cn>

读者信箱: dufep@mail.dlptt.ln.cn

沈阳新华印刷厂印刷 东北财经大学出版社发行

开本: 850×1168 毫米 1/32 字数: 288 千字 印张: 11½

印数: 5 001—9 000 册

1997 年 11 月第 1 版

2000 年 12 月第 2 次印刷

责任编辑: 朱 艳

责任校对: 方 红

封面设计: 吴 伟

版式设计: 吴 伟

定价: 16.00 元

编者的话

本教材是以国际商务日语专业大学2年级、3年级的学生为对象而编。全书分为中级和上级。作为国际商务日语的精读教材，中级的重点放在更广泛、更深入地了解和熟悉日本的各个方面。为此本教材精选了一些最新且有趣的课文，其中包括日本的文化、习俗等，并在每4课的后面设了追加用语“ホテル”、“空港”、“病院”、“事務用品”、“コンピューター”、“世界名人”、“映画”、“世界企業・ブランド名”等。其目的在于使学生能掌握更丰富而实用的词汇。上级在保留了一般精读教材所保持的课文内容的同时，则把重点放在更多地了解日本的经济情况。因此，从日本国际交流研究所编集、发行的原朝日新闻编集委员大谷健先生著的《日本经济》中，选编了“出発点・敗戦直後の状態”、“外資導入”、“技術革新”、“東京一極集中”、“公害問題に取り組む”、“石油危機を乗り切る”、“円高一成功ゆえの悩み”等7篇课文。通过这些内容的学习，使学生在掌握日语的基本句型、语法现象等的同时，还可以较系统地了解战后50多年来日本经济腾飞的奥秘——发展历程、经验教训，并可大量掌握有关经济方面的词汇。而且每4课后面的追加用语如“銀行”、“証券”、“會計”、“稅務”、“法律”、“保險”、“貿易”等，会使学生在有限的时间、范围里最大限度地学习和掌握非常实用的词汇，以达到扩大视野、丰富知识的目的。

另外，为帮助学生掌握、消化所学习的内容，在每课后面的练

习问题里设了提问及关键句型造句练习。相信本教材也会对日语爱好者有所帮助。

本教材在汇集、编写过程中主要参阅了日本国际研究所大森和夫先生的文章,以及有关方面的资料,在此一并表示最诚挚的谢意。

由于编者水平所限,难免书中有差错,敬请读者批评指正。

编 者

1997.6

目 次

中級

第一課	どうも	(1)
第二課	日本語のあいまいさ	(7)
第三課	駅の売店で	(9)
第四課	日本の四季——春	(12)
	追加用語 1——ホテル	(14)
第五課	がんばる	(16)
第六課	かこむ	(19)
第七課	正月	(22)
第八課	お花見は南から北へ	(25)
	追加用語 2——空港	(27)
第九課	かまくら	(29)
第十課	すもう見物	(32)
第十一課	日本人の生活と文化	(36)
第十二課	日本の四季——秋	(39)
	追加用語 3——病院	(42)
第十三課	「鑑真」——文化交流の先駆者	(44)
第十四課	医療保険制度	(48)
第十五課	無言化社会の中で	(51)
第十六課	ほんとうの顔	(56)

追加用語 4——事務用品	(60)
第十七課 現代の人間関係	(62)
第十八課 しらせる	(68)
第十九課 こまる	(71)
第二十課 まもる	(74)
追加用語 5——コンピューター	(76)
第二十一課 ローズマリーの旅	(78)
第二十二課 割られたガラス	(83)
第二十三課 小さな出来事	(89)
第二十四課 畳と床	(94)
第二十五課 向かい合いの心理	(99)
追加用語 6——世界名人	(103)
第二十六課 日本の政治の仕組み	(105)
第二十七課 10 秒の空白	(108)
第二十八課 日本における「集団」	(113)
第二十九課 挑戦	(116)
第三十課 日本の「タテ社会」	(122)
追加用語 7——映画 名作	(125)
第三十一課 のびる	(127)
第三十二課 学歴と日本社会	(130)
第三十三課 おとぎ話とSFの間	(133)
第三十四課 具象以前	(138)
第三十五課 日本国憲法	(143)
追加用語 8——世界企業・ブランド名	(145)

上級

第一課	青春のひとこま	(147)
第二課	いつもお世話になっています	(152)
第三課	謝る文化・謝らない文化	(158)
第四課	出発点・敗戦直後の状態	(164)
	追加用語 1——銀行	(171)
第五課	年金制度	(173)
第六課	セールスマン日本一	(176)
第七課	あなたの欲しいものはなにか	(180)
第八課	外資導入	(185)
	追加用語 2——証券	(191)
第九課	機械と人間	(193)
第十課	「デフレ」と「インフレ」	(201)
第十一課	理想のエネルギー	(207)
第十二課	技術革新	(211)
	追加用語 3——会計	(217)
第十三課	日本人の心	(219)
第十四課	電車の中のプライバシー	(223)
第十五課	猫ばばと死刑	(227)
第十六課	東京一極集中	(231)
	追加用語 4——税務	(237)
第十七課	日本神話が崩れる時	(239)
第十八課	動物たちの嘆き	(245)
第十九課	宇宙との出会い	(249)

第二十課	公害問題に取り組む	(253)
	追加用語 5——法律	(259)
第二十一課	コンピュータ夢物語	(261)
第二十二課	仕事選び	(265)
第二十三課	「低成長、高齢化の国」へ	(270)
第二十四課	石油危機を乗り切る	(276)
	追加用語 6——保険	(282)
第二十五課	商業通信文の意義	(284)
第二十六課	身元保証人を依頼する文	(289)
第二十七課	取引上の文章 (1)注文・申込状の書き方	
	(2)拒絶状の書き方	(294)
第二十八課	円高——成功ゆえの悩み	(299)
	追加用語 7——貿易	(306)
言葉一覧表		(308)

中級

第一課 どうも

はやしやなつさぶろう うめさおなだ お 　　なだみちたろう かとうひでとし
林 屋辰三郎 梅棹忠夫 多田道太郎 加藤秀俊

日本に來た外人に、これを知っているとたいへん便利だからぜひ覚えておくといいという日本語を一つだけ教えてほしい、などといわれたら、皆さんはどうするか。

「こんにちは」ではない。「さよなら」でもない。「ありがとう」でも「すみません」でもない。「どうも、どうも」——これである。

「どうも」——この言葉さえ知っておれば、先に挙げた四つの言葉も、すべてこれで代用が効く。友人に道で会ったら「やあ、どうも。」と言えればいいし、別れる時は「それでは、どうも。」と言っておけばよろしい。応用範囲は、きわめて広い。婚礼のとき、あるいは葬儀の場合に、堅苦しいあいさつを長々と述べる必要はなくて、「本日はどうも。」といって頭を下げるだけで意味が通じる。日常の社交用語として、これほど便利重宝なものはない。

「それでは、いったい、どうもとはどういう意味内容を持った言葉なのですか。」

外人に改めてそう尋ねられた日本人が、

「さあ、それはどうも……。」

と言って頭をかいた。これは笑い話——。

ある辞書によると、「どうも」には、「どうしても」「いかにすれども」「甚だ・まったく」という三つの意味があると記されている。「どうも見えぬ。」「どうもしかたがない。」「どう

も驚いた。」等々、要するに、どうしようもない、なすすべを知らぬ、まったくお手上げだ、ということである。高価な贈り物を受けたときなどに発する「これは、どうも。」という言葉、親しい友人の告別式に赴いたときなどに述べる「なんとも、どうも。」という言葉、いずれも感極^{かんきわ}まって、自分の気持ちをどう表現していいのか分からない、ということだ。

それは、自分の思っていることを言い表すのに、言葉というものがいかに不備で不適切であるかということの自己告白であり、そこに日本人の言語観を見ることができる。思想や意見は言葉によって必ず的確に表現でき、また表現すべきものだとする西洋の合理主義的・楽天的コミュニケーション感覚とは、まったく正反対のもので、以^い心^{しん}伝^{でん}心^{しん}とか不^ふ立^{りゅう}文字^{もんじ}をよしとし、常^{つね}とする日本人の精神構造と深いかわり合いがある。いわば、超言葉的思想表現である。

このように、「どうも」といえば、どうにも言い表せない、ということが原義でありながら、今日われわれは「どうも」で何でも表現している。「どうもありがとう」、「どうもすみません」、「どうも困った」などの、「どうも……」に続くあとの言葉を省いて使っているのだ。電話のかけ方を例に取ろう。

「もしもし、こちらは加藤ですが。どうも、どうも。」

あいさつは万事これで事足りる。「このごろは少し暑うございますね。」とか、「この間は失礼をいたしまして。」など言わなくても済む。

このごろは、マスコミュニケーションをマスコミというふうには、フルネームを略語化することが多い。しかし、「どうも」の場合は表現の簡略化であって、マスコミというときのように言葉の単なる簡略化とは違う。略語はそれ自身一つの意味しか持

たぬ。「どうも」は一言にして多義的な意味を持つ。多義性を生かすことで簡略化に成功しているわけである。

日常のあいさつ言葉として「どうも」をよく使い始めたのは、恐らくジャーナリズム関係の職業の人たちであろう。彼らの仕事の性質上、儀礼的あいさつはせいぜい簡略にして、敏速な事務処理を図る必要がある。そこで簡潔なあいさつ言葉として「どうも」が登場する。そして戦後、マスコミ産業の拡大化に伴い、「どうも、どうも。」も一般に普及し、大衆化したのである。

大体、東方の君子国である日本には、あいさつ言葉一つにも、めんどうなしきたりや決まりのようなものがある。「このたびは不思議なご縁で。」といえは婚礼のときの、「だんだんとおさみしゅうございます。」と言えは初七日しよなのかのときの、それぞれ慣用あいさつ言葉である。これらをいちいち覚えて使いこなすのはたいへんだ。それに、こうした慣用句はいわば紋切りもんき型がたになって、しらじらしい感じを相手に与えることにもなる。「どうも」——この一語のほうにどれほど情感がこもることか。

「どうも」は、あとに続く言葉を皆言わなくても、それを使う時と場合、あるいは抑揚のつけ方で、何を言おうとしているのが分かる。自分の置かれたさまざまな状況のいかに応じて、広く無限に応用が効く。「どうも」というのは、それだけ取り出してみれば、意味の上では確かにあいまいな言葉だ。しかし、あいまいだからいかん、という理屈は必ずしも成り立たない。実際の状況では、「どうも」のあとに続く意味は、わざわざ言葉に出さなくても、ちゃんと分かるようになっているのだ。言わないでも分かっていることをわざわざ言うのは、意味の明晰化めいせいではない。それはむだというものだ。それに日常言語というものは、ある程

度のあいまいさを潤滑油にして動いている。「どうも」は、そういう潤滑油として、たいへんに品質が高いのである。つまり「どうも」は、多元的状况を抽象的に処理することができるわけだ。人間関係が複雑になればなるほど、ますます効用が発揮されるのである。

こう考えてみると、「どうも」という言葉は、物事の判断を中止し、断定することを回避するという機能を持っているようだ。「どうも分かん。」といえ、あれもこれもいろいろ考えてはみたけれど、どうにも分かんということで、原則脱落的態度を示す。「どうも」が持つ多義性は、こうした原則脱落・判断中止、断定回避性から出てくる。そして、日常の社交用語としての儀礼性も、ここから生まれたものといってよい。なぜなら、儀礼や社交では、思想の発表とは違って、言語表現が明確であることを必要としないのだから。

(三省堂『中学校現代の国語2』による)

言 葉

赴く おもむく	赴 往 趋向
以心伝心 いしんでんしん	心领神会 佛教用语
不立文字 ふりゅうもんじ	心领神会 心照不宣 佛教用语
フルネーム	姓名 全名
しきたり	老规矩 惯例 常例
紋切り型 もんきりがた	千篇一律 老一套
しらじらしい	显而易见的 瞒不了人的
重宝 ちょうほう	宝贝 珍宝 方便 便利 适用

練習問題

一、次の質問に答えてください

1. ある辞書に記された「どうも」の意味は何ですか。
2. 日常のあいさつ言葉として「どうも」をよく使い始めたのはどんな人たちですか。
3. 「どうも」という言葉は、どんな機能を持っているようですか。
4. 日常用語で、「どうも」のあとによく続く言葉をまとめてください。

二、「どうも」を読んだうえで、次の各文の□に当てはまる語句を、a～cの中から選んで、その記号を□の中に入れなさい

1. 日本語の中で知っていてとても便利な言葉は□です。
 - a. こんにちは。
 - b. ありがとう。
 - c. どうも。
2. どうもの応用範囲はとても広く、例えば□にも使える。
 - a. 初対面のあいさつのとき。
 - b. 学校で先生にあいさつするとき。
 - c. 旅に出る友を見送るとき。
3. 贈り物をもらったとき「どうも」と言うのは□という気持ちを表わしている。
 - a. うれしくてしかたがない。
 - b. 何と言ってよいか分からない。
 - c. ありがとう。
4. 日本人の言語観とは□です。
 - a. コミュニケーションを豊かにするものだと考えることのよう。
 - b. あいまいに物を言うことだと考えることのよう。

c. 言葉では自分の考えや感情が表わせないと考えることのよう。

5. ジャーナリズム関係の人たちが「どうも」を使い始めた理由は□です。

a. 忙しいです。 b. 面倒だから。 c. あいさつが嫌いだから。

6. 「どうも」という言葉は□によってさまざまな意味を表わします。

a. 人間関係。 b. 場面。 c. 仕事の性質。

7. 「どうも」の後を省略するのは□です。

a. 簡潔にあいさつするため。

b. むだを省くため。

c. あいまいさを残すため。

二、次の言葉で短文を作りなさい

1. ～しらじらしい。

2. ～いったい。

第二課 日本語のあいまいさ

電車の中で二人の学生が話しています。

男子学生「あした、映画行かない」

女子学生「あしたは、ちょっと……」

この会話を聞いて、あなたは、女子学生は映画へ行くと思いますか、行かないと思いますか。「あしたは、ちょっと……」のあとには、どんなことばが続くと思いますか。「あしたは、ちょっと忙しくて行けない」「あしたは、ちょっとだめだけど、あさってなら行ける」など、いろいろ考えられます。この返事だけでは、はっきりわかりません。ところが、男子学生は「そう、残念だね。また今度いっしょに行こうね」と言いました。女子学生は、映画に行けない、と断っていたのです。

日本語では「できません」や「だめです」などの否定のことばをなるべく使わないようにします。自分のほうからはっきり断らなくても、相手の人が自分の気持ちをわかってくれるようにします。それは相手の人との親しい関係をこわさないようにとか、相手の人を傷つけないようにするため、とか言われています。それは「けっこうです」ということばの使い方を見てわかります。

たとえば、訪問した家で、その家の人がお茶を出してくれました。

「お茶をもういっぱい、いかがですか」

「けっこうですね(もういっぱいいただきます)」

「お茶をもういっぱい、いかがですか」

「もうけっこうです(ほしくないです)」

このように同じ「けっこうです」が、反対の二つの意味を表

すのです。日本人でもどちらの意味か、迷うことがあります。断る時には手ぶりや顔の表情でもはっきり断っていることを表したほうがいいでしょう。そのほかに「いいです」も、こういう使い方をします。

店員「お客さま、青いネクタイになさいますか。赤いネクタイになさいますか」

客「そうですねえ。赤いのはいいです。青いのでいいです」

さて、このお客さんは、赤いネクタイと、青いネクタイと、どちらのネクタイをえらんだのでしょうか。

言 葉

断る	ことわる	谢绝
傷つける	きずつける	伤害
迷う	まよう	迷惑
手ぶり	てぶり	手势
ネクタイ		领带

練 習 問 題

一、次の質問に答えなさい

1. 断る場合、日本語ではどうして否定の言葉をなるべく使わないほうがいいですか。

2. お客さんは何色のネクタイを選んだのですか。

二、次の言葉で短文を作りなさい

1. ところが。

2. ～ようにする。